

令和4年度
所沢市男女共同参画に
関する市民アンケートの結果

所沢市企画総務課男女共同参画室

1 調査の目的

所沢市では、令和元年度に第4次所沢市男女共同参画計画を策定し、男女共同参画に関するさまざまな取り組みを進めています。この調査は計画の進捗状況の確認と、所沢市の現状の把握のほか、市民の意見を伺うため実施しました。

2 調査の設計

- 調査対象 所沢市在住の18歳以上の男女
- 配布数 2,000人（男性1,000人、女性1,000人）（所沢市住民基本台帳から無作為抽出）
- 調査方法 質問票を郵送配布。回答は郵送またはインターネットによる。
- 調査期間 令和5年3月5日～3月30日
- 質問項目 Q1～Q20（総質問数 41問）

3 回収結果

	配布数	回答人数	回答率 (回答数/配布数)	構成比 (回答数/回答総数)
男性	1,000	272人	27.2%	43.5%
女性	1,000	335人	33.5%	53.6%
その他	—	3人	—	0.5%
無回答	—	15人	—	2.4%
総数	2,000	625人	31.3%	100.0%

4 表記について

- 男女別の回答の割合を示した表については、計算の元となる回答者数（n）に「その他」と、「（性別）無回答」は含めていません。（次頁の「回答者のプロフィール」を除く）
- 各表の割合を示す数値は全て百分率（%）で表し、小数点以下第二位を四捨五入しています。
- 複数回答を可能とした質問は、合計数値が100%になりません。
- 各質問で回答で割合の高かったものと、「第4次所沢市男女共同参画計画の評価指標」に該当する部分は、文字を太字にしています。
- 「前回調査」とあるものは、令和2年度（令和3年3月）に実施したものです。

5 回答者のプロフィール（質問Q8、Q14～17より）

《Q8 あなたは現在働いていますか》

	合計	男性	女性	その他	無回答
	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
働いている	65.3%	69.5%	63.3%	33.3%	40.0%
働いていないし、仕事を探してもいない	25.1%	25.7%	24.2%	33.3%	33.3%
働いていないが、仕事を探している	4.8%	3.3%	6.0%		6.7%
産休・育休・病休などで一時的に仕事を休んでいる	2.9%	1.5%	3.9%	33.3%	
無回答	1.9%		2.7%		20.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

《Q14 あなたの性別を教えてください》

	回答数	構成比
男性	272	43.5%
女性	335	53.6%
その他	3	0.5%
無回答	15	2.4%
合計	625	100.0%

《Q15 あなたの年齢層を教えてください》

	合計	男性	女性	その他	無回答
	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
18～19歳	2.9%	4.0%	1.8%	33.3%	
20～29歳	9.8%	8.8%	10.7%	33.3%	
30～39歳	12.6%	10.3%	15.2%		
40～49歳	14.6%	12.9%	16.4%	33.3%	
50～59歳	16.6%	16.2%	17.9%		
60～69歳	22.9%	23.2%	23.9%		
70歳以上	18.4%	24.6%	13.7%		13.3%
無回答	2.2%		0.3%		86.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

《Q16 あなたは結婚されていますか》

	合計	男性	女性	その他	無回答
	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
今現在結婚している	67.0%	69.9%	68.1%		
結婚していたが、離別・死別した	10.6%	5.5%	14.9%		
結婚したことはない	20.0%	24.3%	16.7%	100%	
無回答	2.4%	0.4%	0.3%		86.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

《Q17 現在、あなたと一緒に住まいの方を教えてください》

	合計	男性	女性	その他	無回答
	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
ひとり暮らし	11.5%	12.1%	11.6%		
本人と親	11.5%	14.7%	9.0%	66.7%	
本人と配偶者（パートナー）	28.8%	31.6%	27.8%		6.7%
本人と配偶者（パートナー）と子ども（末っ子が小学生以下）	14.4%	14.3%	15.2%		
本人と配偶者（パートナー）と子ども（末っ子が中学生以上）	16.5%	15.4%	18.2%		
本人と子ども（末っ子が小学生以下）	0.8%	0.4%	1.2%		
本人と子ども（末っ子が中学生以上）	3.5%	1.8%	5.1%		
三世帯家族（親と子と孫）	5.0%	5.9%	4.5%		
その他	5.6%	3.3%	7.2%	33.3%	6.7%
無回答	2.4%	0.4%	0.3%		86.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q1 女性の地位は平等になっていると思いますか？

(1) 家庭生活	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
男性の方が非常に優遇されている	10.2%	4.8%	14.9%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	45.9%	36.4%	54.3%
平等である	30.2%	41.5%	21.2%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	5.6%	8.5%	3.3%
女性の方が非常に優遇されている	1.6%	2.2%	0.9%
わからない	5.1%	5.9%	4.2%
無回答	1.3%	0.7%	1.2%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 職場	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
男性の方が非常に優遇されている	14.4%	12.1%	16.6%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	45.6%	41.5%	49.6%
平等である	21.0%	27.2%	16.7%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	6.6%	8.5%	5.1%
女性の方が非常に優遇されている	1.6%	2.6%	0.9%
わからない	8.5%	7.0%	8.7%
無回答	2.4%	1.1%	2.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(3) 学校教育の場	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
男性の方が非常に優遇されている	3.0%	1.5%	4.2%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	15.7%	13.6%	17.3%
平等である	56.2%	64.0%	51.9%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	3.0%	4.4%	2.1%
女性の方が非常に優遇されている	0.5%	0.4%	0.6%
わからない	18.6%	14.3%	20.6%
無回答	3.0%	1.8%	3.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(4) 社会通念・慣習・しきたりなど	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
男性の方が非常に優遇されている	20.0%	11.4%	27.2%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	56.0%	57.0%	55.8%
平等である	11.2%	16.2%	7.5%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	3.7%	6.3%	1.8%
女性の方が非常に優遇されている	1.6%	3.3%	0.3%
わからない	5.4%	4.8%	5.4%
無回答	2.1%	1.1%	2.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

特徴等

○男性の方が優遇されていると感じられている項目（「男性が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計）は、全体では(4) 社会通念・慣習・しきたりが最も多く、以下、(2) 職場、(1) 家庭生活、(3) 学校教育の場、の順となっています。

○各質問項目で「(男女が) 平等である」と答えた人は、女性より男性が多くなっています。

○(3) 学校教育の場では、「(男女が) 平等である」と答えた人が全体で56.2%となり、質問項目の中で最も多くなっています。一方で、「わからない」と答えた人も18.6%と質問項目の中で最も多くなっています。回答者のうちの約6割が50歳を超えていることから、教育現場とは関わりの少ない年齢層にとって判断しづらい質問だったものと推測します。

Q2 次の言葉をご存じですか？

(1) 男女共同参画社会	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
意味を知っている	47.2%	57.4%	38.8%
言葉だけは知っているが、意味はよく分からない	30.1%	22.8%	36.4%
知らない	21.3%	19.5%	23.0%
無回答	1.4%	0.4%	1.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(2) ジェンダー	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
意味を知っている	74.7%	73.9%	76.7%
言葉だけは知っているが、意味はよく分からない	17.0%	17.6%	15.5%
知らない	6.6%	7.0%	6.3%
無回答	1.8%	1.5%	1.5%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(3) ワークライフバランス	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
意味を知っている	58.7%	63.2%	56.4%
言葉だけは知っているが、意味はよく分からない	21.0%	18.4%	22.7%
知らない	18.7%	17.3%	19.4%
無回答	1.6%	1.1%	1.5%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(4) ドメスティックバイオレンス	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
意味を知っている	90.4%	90.4%	91.3%
言葉だけは知っているが、意味はよく分からない	5.9%	7.0%	4.8%
知らない	2.4%	1.8%	2.7%
無回答	1.3%	0.7%	1.2%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(5) LGBT	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
意味を知っている	71.4%	74.6%	69.3%
言葉だけは知っているが、意味はよく分からない	13.8%	13.6%	13.4%
知らない	13.4%	11.0%	15.8%
無回答	1.4%	0.7%	1.5%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(6) パートナーシップ・ファミリーシップ制度	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
意味を知っている	30.2%	31.3%	30.7%
言葉だけは知っているが、意味はよく分からない	35.0%	32.0%	37.0%
知らない	33.0%	36.0%	30.4%
無回答	1.8%	0.7%	1.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(7) 選択的夫婦別姓制度	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
意味を知っている	73.3%	74.6%	72.8%
言葉だけは知っているが、意味はよく分からない	18.6%	16.5%	20.0%
知らない	6.7%	8.1%	5.7%
無回答	1.4%	0.7%	1.5%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

特徴等

○すべての項目について、「意味を知っている」人の割合は前回調査より高くなっています。（今回新たに設問を追加した「パートナーシップ・ファミリーシップ制度」を除く。）

○LGBT(性的少数者)が社会的配慮を受けやすくなることを目的に令和4年1月に導入した「パートナーシップ・ファミリーシップ制度」については、約3割の人が「知らない」と回答しています。

Q3 「男女共同参画推進センターふらっと」をご存じですか

男女共同参画推進センター ふらっと	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
意味を知っている	5.1%	5.5%	4.8%
言葉だけは知っているが、意味はよく分からない	23.8%	18.8%	28.1%
知らない	69.6%	74.3%	66.0%
無回答	1.4%	1.5%	1.2%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

評価
指標

特徴等

○以下を参照

「男女共同参画推進センターふらっと」を知っている人の割合

評価
指標

第4次所沢市男女共同参画計画では、計画の進捗度を測る指標として、本市の男女共同参画の総合的な拠点施設である「男女共同参画推進センターふらっと」を知っている人の割合を用いています。

今回のアンケート調査では、「ふらっと」について「知っている」「言葉だけは知っている」が全体では、28.9%となり、前回の調査結果（32.5%）より3.6%減っています。

現状値・目標値	現状値		年度別目標値			
	平成29年度	令和2年度	令和4年度	令和6年度	令和8年度	令和10年度
実績値	30.5%	32.5%	28.9%	47%	49%	50%

Q4 「男女共同参画社会」をつくるために、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか (複数回答)

	全体
(1) 夫婦で参加できる家事・育児・介護に関する講座を行う	26.9%
(2) 人権教育を推進し、男女共同参画に関するテーマを取り入れた講座を行う	15.5%
(3) 学校で男女共同参画教育を行う	47.7%
(4) 市の施策に関する審議等を行う場に女性を登用する	33.4%
(5) 市職員管理職に女性を登用する	38.1%
(6) 企業に意思決定の場に女性が参画できるよう働きかける	35.4%
(7) 女性を対象とした各種相談やDV被害の救済体制を充実する	34.2%
(8) ひとり親家庭の生活安定のための支援を充実する	40.6%
(9) 女性がいきいきと職業生活を送るための資格・技能取得支援を充実する	27.5%
(10) 保育施設を充実する	59.0%
(11) 市が率先して模範となり男女共同参画の職場づくりを働きかける	34.9%
(12) 男性も女性も地域で活動し、地域のつながりをつくれるような支援	24.0%
(13) 介護家庭に対する支援を充実する	48.2%
(14) 男女共同参画を目的とした市民活動の支援を充実する	18.4%
(15) わからない	6.2%
(16) 特にない	2.1%
(17) その他	7.7%

特徴等

○前回の調査と同様に、(10)保育施設の充実、(13)介護家庭への支援、(3)学校での教育の順に多くなっています。

○(17)「その他」の回答として、男性が参加しやすい育児・介護の講座の開催や、気軽に相談できるようなところがあるとよい」「働く女性のために、テレワークの推進補助をしてほしい」といった意見がありました。

Q5 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどのように思いますか。

	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
その考えに賛成	2.7%	4.0%	1.8%
どちらかといえば賛成	17.4%	23.2%	13.7%
【どちらかといえば反対】			
その考えに反対	29.3%	24.3%	32.2%
わからない	11.5%	12.1%	11.3%
無回答	1.3%		1.5%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

評価
指標

特徴等

○反対（「反対」「どちらかといえば反対」の合計）と答えた人が全体では約67.1%となっています。一方、賛成（「賛成」「どちらかといえば賛成」の合計）と答えた人が、全体で約20.1%となっています。

○この結果はこの計画をつくった当時（平成29年調査）以降、連続して上昇している傾向にあります。

○男女別にみると反対は男性が60.7%、女性が71.6%となり、女性の方が男性より約10.9%多くなっています。

「男性は仕事、女性は家庭」という考えに「反対」、「どちらかといえば反対」とする人の割合

評価
指標

現状値・目標値	現状値	年度別目標値				
	平成29年度	令和2年度	令和4年度	令和6年度	令和8年度	令和10年度
		52%	54%	56%	58%	60%
実績値	49.6%	63.2%	67.1%			

第4次所沢市男女共同参画計画では、男女共同参画に関する意識がどの程度浸透したかを測る指標として、「男性は仕事、女性は家庭」という考えに「反対」、「どちらかといえば反対」とする人の割合を用いることとしています。

今回のアンケート調査では、全体で67.1%の人がその考えに「反対」、「どちらかといえば反対」と答えたことから令和4年度の目標値（54%）は達成しています。

Q6 この質問は、あなたを含めてご家庭に男性がいる場合のみお答えください。あなたの家庭で男性が家事（炊事・洗濯・育児・介護等）に充てている時間は1日あたりに平均すると、どの程度ですか。家庭に男性が複数いる場合は、全体の延べ時間で回答してください。

男性の家事時間 1日平均	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
なし	11.4%	7.0%	14.6%
15分未満	17.0%	14.0%	18.8%
15分～30分未満	17.0%	14.3%	20.0%
30分～1時間未満	17.4%	20.6%	15.2%
1時間～2時間未満	18.4%	26.1%	12.5%
2時間～4時間未満	9.1%	12.1%	6.9%
4時間～6時間未満	1.1%	1.5%	0.6%
6時間～8時間未満	0.8%	1.1%	0.6%
8時間以上	1.0%	1.5%	0.6%
無回答	6.9%	1.8%	10.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

特徴等

- 男性がいる家庭では、全体の81.7%で男性が何かしら家事をしています。
- 男性は、家事の時間を1～2時間未満と答える人が多く、女性は15分～30分未満と答える人が多くなっており、家事に対する捉え方や意識の差が表れています。
- 男性の家事時間については、前回の調査結果と大きな変化はありません。

Q7 生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、地域活動・学習・趣味・付き合いなどの「地域・個人の生活」の優先度についておうかがいします。

(1) 現状に最も近いもの	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
「仕事」を優先	15.7%	20.6%	11.6%
「家庭生活」を優先	22.4%	14.7%	28.7%
「地域・個人の生活」を優先	4.5%	4.8%	4.2%
「仕事」と「家庭生活」をともに優先	29.1%	32.0%	28.4%
「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	1.9%	2.9%	1.2%
「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	10.4%	10.3%	10.1%
「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を全て大事にしている	9.9%	9.9%	9.9%
わからない	4.3%	4.4%	3.9%
無回答	1.8%	0.4%	2.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

評価指標

(2) 希望に最も近いもの	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
「仕事」を優先	3.2%	4.0%	2.7%
「家庭生活」を優先	15.7%	14.7%	17.3%
「地域・個人の生活」を優先	4.6%	4.8%	4.2%
「仕事」と「家庭生活」をともに優先	27.2%	32.7%	23.6%
「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	3.8%	5.1%	3.0%
「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	13.3%	11.0%	14.0%
「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を全て大事にする	26.4%	24.3%	28.7%
わからない	3.5%	2.9%	3.9%
無回答	2.2%	0.4%	2.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

特徴等

- 希望に最も近いものとして、「仕事」を優先事項に含めた人は60.6%、「家庭生活」82.6%、「地域・個人の生活」48.1%となっています。
- 現状に近いものとして「仕事」を優先事項に含めた人は56.6%、「家庭生活」71.8%、「地域・個人の生活」26.7%となっています。
- 約8割の人が「家庭生活」を優先したいと考えており、7割の人が優先できている一方、「地域・個人の生活」は希望と現状に大きな乖離が見られ、希望どおりの生活が難しいことがうかがえます。

「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」をすべて大事にしている人の割合

評価 指標

第4次所沢市男女共同参画計画では、市民の間にワーク・ライフ・バランスの意識がどの程度浸透しているかを測る指標として、「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」をすべて大事にしている人の割合を用いています。今回のアンケート調査では、全体で9.9%となり、令和4年度の目標値（18%）は未達成となりました。

現状値・目標値	現状値	年度別目標値				
	平成29年度	令和2年度	令和4年度	令和6年度	令和8年度	令和10年度
		14%	18%	22%	26%	30%
実績値	10.1%	7.1%	9.9%			

※ Q8は3ページに記載

Q9 働いている方におうかがいします

(1) 週に何時間働いていますか	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
20時間未満	17.9%	9.0%	25.9%
20時間から29時間	13.2%	5.8%	20.3%
30時間から39時間	18.1%	12.7%	21.2%
40時間から49時間	31.1%	39.2%	24.5%
50時間から59時間	10.8%	17.5%	5.2%
60時間以上	7.1%	12.7%	2.4%
わからない	1.5%	2.6%	0.5%
無回答	0.2%	0.5%	
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 働き方で最も近いもの	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
正社員・正職員	44.1%	58.7%	32.1%
パート・アルバイト	29.7%	11.6%	46.7%
派遣社員・契約社員	9.6%	9.0%	9.9%
自営・独立事業者・フリーランス・SOHO	11.5%	15.3%	6.6%
内職			
家業・家族従業員	2.0%	2.1%	1.9%
その他	3.2%	3.2%	2.8%
無回答		0.5%	
合計	100.0%	100.0%	100.0%

特徴等

○(1)(2)ともに、前回の調査結果と構成順位に大きな変化はありません。

Q8、Q9-(2)、Q14、Q15 クロス集計

「20歳代から50歳代」の「就労している女性」が「正社員・正職員・自営業等」である割合

「性別」「年齢層」「働き方」のすべてに回答している人の集計。（いずれかに1つでも無回答が含まれるものは集計対象外とする。）

	人数	構成比
正社員・正職員	59	37.8%
自営・独立事業者等	9	5.8%
パート・アルバイト	64	41.0%
派遣社員・契約社員	18	11.5%
内職	0	0.0%
家業・家族従業員	3	1.9%
その他	3	1.9%
合計	156	100.0%

評価
指標

就労している女性が正社員等である割合

評価
指標

第4次所沢市男女共同参画計画では、女性の就労のための支援の効果を測る指標として、20歳代から50歳代の就労している女性が正社員・正職員・自営業等である割合を用いています。

今回のアンケート調査では43.6%という結果になり、目標値である55%は未達成となりました。

現状値・目標値	現状値		年度別目標値			
	平成29年度	令和2年度	令和4年度	令和6年度	令和8年度	令和10年度
実績値	52.3%	54.9%	43.6%	57%	59%	60%

Q9-2 あなたの職場環境についておうかがいします

(1) 男性が育児休暇を取得しやすい職場か	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
取得しやすい	10.5%	11.6%	9.9%
どちらかといえば取得しやすい	24.0%	25.4%	23.6%
どちらかといえば取得しにくい	19.4%	20.1%	19.3%
取得しにくい	21.1%	23.8%	18.9%
わからない	22.8%	17.5%	25.9%
無回答	2.2%	1.6%	2.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 女性が育児休暇を取得しやすい職場か	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
取得しやすい	39.2%	39.7%	40.1%
どちらかといえば取得しやすい	22.1%	21.2%	23.6%
どちらかといえば取得しにくい	7.8%	7.4%	8.5%
取得しにくい	10.8%	11.6%	10.4%
わからない	18.1%	16.9%	17.0%
無回答	2.0%	3.2%	0.5%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

特徴等

- (1)(2)ともに、前回調査結果から大きな変化はありません。
- 女性に比べ、男性の方が育児休暇を取得しにくいと感じている人が顕著に多くなっています。

Q10 男性または女性が育児休暇・介護休暇をとることについてどのように思いますか

(1) 男性が育児休暇をとること	全体	男性	女性	(2) 女性が育児休暇をとること	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比		構成比	構成比	構成比
賛成	60.3%	52.6%	66.6%	賛成	81.1%	76.1%	86.6%
どちらかといえば賛成	27.5%	30.5%	25.7%	どちらかといえば賛成	12.5%	14.7%	10.7%
どちらかといえば反対	4.0%	6.3%	2.4%	どちらかといえば反対	0.6%	1.1%	0.3%
反対	1.0%	1.8%	0.3%	反対	0.2%	0.4%	
わからない	5.0%	6.3%	3.9%	わからない	2.6%	3.3%	1.5%
無回答	2.2%	2.6%	1.2%	無回答	3.0%	4.4%	0.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	合計	100.0%	100.0%	100.0%

特徴等

○(1)(2)ともに、男性に比べ女性の方が賛成の割合が高くなっています。特に(1)については、女性ほど男性の意識が高くないことが見受けられます。

○前回調査と比べ、(1)(2)ともに大きな変化はありませんが、育児休暇を取得することについては、性別問わず理解が進んでいることがうかがえます。

Q11 あなたの生活状況について、おうかがいします

	全体	男性	女性	その他	無回答
	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
経済的にゆとりがある	10.7%	11.4%	10.4%		6.7%
経済的に困っていない	54.6%	55.5%	54.0%		60.0%
経済的にゆとりがない	32.6%	30.9%	34.6%	100.0%	6.7%
無回答	2.1%	2.2%	0.9%		26.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q12 あなたはこれまでに、配偶者・パートナー・恋人から以下のような行為をされたことがありますか

(1) なぐる、ける、突き飛ばされるなどの身体に対する行為	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
今現在、ひんぱんにある	0.3%	0.4%	
今現在、少しある	0.3%	0.4%	0.3%
過去に何度もあった	1.1%	0.7%	1.5%
過去に数回程度あった	8.3%	4.8%	11.6%
まったくない	86.9%	91.2%	84.2%
無回答	3.0%	2.6%	2.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 人格を否定するような暴言・交友関係の監視・長期間無視などの精神的いやがらせ	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
今現在、ひんぱんにある	1.1%	1.1%	1.2%
今現在、少しある	2.7%	1.1%	4.2%
過去に何度もあった	3.0%	1.8%	3.9%
過去に数回程度あった	13.1%	8.8%	16.7%
まったくない	77.0%	84.2%	71.9%
無回答	3.0%	2.9%	2.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(3) いやがっているのに、性的な行為を強要	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
今現在、ひんぱんにある	0.3%	0.4%	0.3%
今現在、少しある	0.2%	0.0%	0.3%
過去に何度もあった	1.1%	0.0%	2.1%
過去に数回程度あった	6.2%	1.1%	10.7%
まったくない	89.1%	95.6%	84.8%
無回答	3.0%	2.9%	1.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(4) 必要な生活費を渡さない、仕事を無理にやめさせるなど経済的に弱い立場に立たせる	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
今現在、ひんぱんにある	0.2%	0.4%	0.0%
今現在、少しある	0.3%	0.0%	0.6%
過去に何度もあった	1.4%	0.0%	2.4%
過去に数回程度あった	3.7%	1.1%	5.4%
まったくない	91.4%	95.6%	89.9%
無回答	3.0%	2.9%	1.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

特徴等

○配偶者等からの暴力の被害経験については、経験がある人（「まったくない」「無回答」を除いた全体）が、全体では5～20%程度となっており、

(2)人格否定などの精神的いやがらせが男女ともに最も高くなっています。

○(1)から(4)すべてにおいて、被害経験のある人は、男性に比べ女性の方が明らかに高くなっています。

Q13 DVに対する対策や支援として、特にどのようなことを充実すべきだと思いますか（複数回答）

	全体
(1) 「DVは犯罪である」ことの啓発や、相談窓口の周知	59.2%
(2) カウンセリングなどの相談体制の充実	53.3%
(3) いざというときに逃げられる場所（保護施設）の充実	74.7%
(4) 避難後の住居や仕事などの生活支援の充実	59.2%
(5) 離婚調停などの法的な支援の充実	45.4%
(6) 加害者に対する厳正な対処	64.8%
(7) 学校でデートDV防止講座を実施する	32.2%
(8) 地域での見守り体制の整備	21.3%
(9) その他	4.2%

特徴等

○(3)いざというときに逃げられる場所（保護施設）の充実、(6)加害者に対する厳正な対処、(1)啓発や相談窓口の周知、(4)避難後の住居や仕事などの生活支援の充実の順に多くなっています。

○(9)「その他」の充実すべきものの回答として、「加害者へのカウンセリング」や「言葉の暴力に対する教育、周知」等の意見がありました。

※ Q14～Q17は3～4ページに記載

Q 18 女性の方におうかがいします。あなたは困ったり悩んだりしたときに、「所沢市男女共同参画推進センター“ふらっと”」や「埼玉県男女共同参画推進センター（With Youさいたま）」などの公的な相談窓口にご相談しようと思いますか。

	女性
【 相談しようと思う 】 評価 指標	25.4%
相談しようとは思わない	28.4%
わからない	46.0%
無回答	0.3%
合計	100.0%

Q 19 公的な相談窓口にご相談しようと思わない理由について（複数回答）

	女性
	構成比
人に知られたくない	5.3%
自分で解決したい	10.5%
友人や家族に相談したい	22.1%
公的な相談窓口で解決するような悩みはない	28.4%
その他	17.9%
無回答	38.9%
合計	100.0%

**Q 18、19
特徴等**

○公的な相談窓口にご相談しようと思わない理由については、そもそも「公的な相談窓口で相談するような悩みはない」という人が一番多く見られました。「その他」には「公的な窓口相談で解決できるか分からない」、「どんな内容を聞いてもらえるのか分からない」といった意見があり、相談窓口について、さらなる周知の必要性がうかがわれます。

公的な相談窓口に相談しようと思う人の割合

評価指標

第4次男所沢市女共同参画計画では女性への支援策の充実度を測る指標として、女性が困ったり、悩んだりしたときに、ふらっとや埼玉県男女共同参画推進センター（With Youさいたま）などの公的な相談窓口に相談しようと思う人の割合を用いています。

今回のアンケート調査では、「相談しようと思う」と答えた人が25.4%であり、令和4年度の目標値（40%）は未達成となりました。

現状値・目標値	現状値		年度別目標値			
	平成29年度	令和2年度	令和4年度	令和6年度	令和8年度	令和10年度
		30%	40%	50%	60%	70%
実績値	25.9%	22.9%	25.4%			

n=607

Q 20 自由意見欄

	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
回答あり	20.3%	19.5%	21.2%
無回答	79.7%	80.5%	78.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

特徴等

○全回答者うちの約2割から、アンケート内容にとどまらない様々な意見がありました。その中でも「男女共同参画推進センターふらっとを初めて知った」、また「保育を充実させてほしい」という意見が多くありました。